

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成24年 6月25日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p>提出者</p> <p>住 所 愛知県北名古屋市熊之庄十二社66-3</p> <p>氏 名 (株)ポッカコーポレーション名古屋工場</p> <p>工場長 一 昌美</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 0568-211031</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社ポッカコーポレーション名古屋工場
事業場の所在地	愛知県北名古屋市熊之庄十二社66-3
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	10：飲料・たばこ・飼料製造業
②事業の規模	製造出荷額 127億4060万円
③従業員数	135人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙2の通り		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組) 別紙3-1の通り	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3-2の通り	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物を更に分別を行いビニール及びプラスチックの分別を徹底し有価物引取りを行う。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の更なる分別を行い有価物化を図る 動植物性残渣の更なる分別により多様なりサイクル処理を行えるようにする。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	13,180 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥脱水機の適正な維持管理。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11,862 t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥脱水機を低含水率タイプに更新して脱水汚泥量を削減する。 排水処理設備の新規処理方法を検討し発生汚泥量削減を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙4-1の通り		

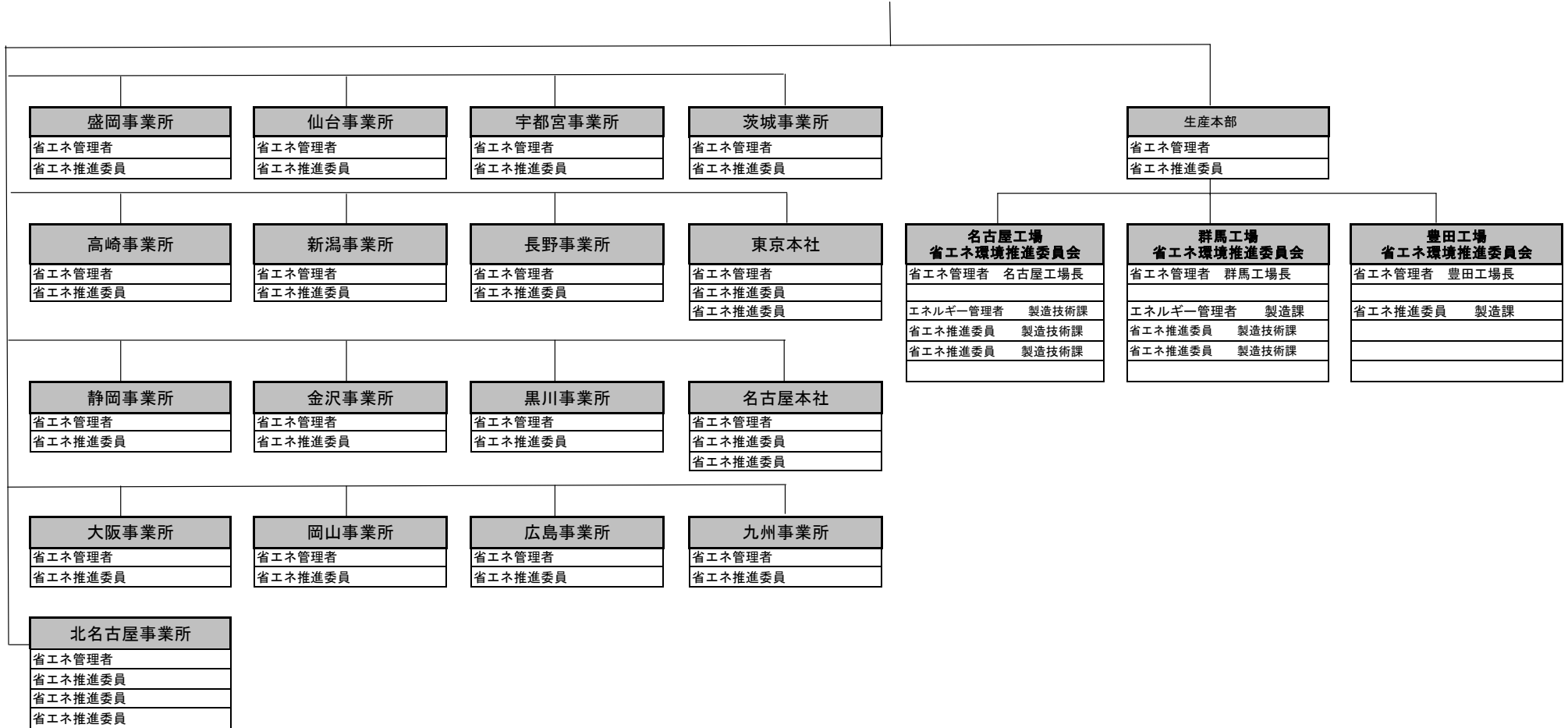
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4-2の通り			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

全社省エネ環境推進委員会

委員長	人事総務本部長
エネルギー統括者	生産本部長
エネルギー管理企画推進者	総務グループ
事務局長	CSR室
事務局	総務グループ



別紙3-1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 前年度(平成23年度)実績

廃棄物の種類	排出量(t/年)	これまでに実施した取り組み
ガラス屑	15.93	ガラス色による分別を実施
汚泥	13,180.00	脱水機の運転管理を確実に実施することで含水率低下を図り、減量化に取り組む
廃油	1.50	油回収装置により廃油を回収する
廃プラスチック類	96.70	ビニール袋等を分別し有価物化を実施
金属屑	114.40	1斗缶、ドラム缶等を有価物化を実施
動植物残渣	2,887.40	製造ラインでの歩留まり向上に努め廃棄物発生を抑制する
合計	16,295.93	

備考

別紙3-2 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

②計画 目標(平成24年度)

廃棄物の種類	排出量(t/年)	今後実施する予定の取り組み
ガラス屑	14.30	製造ロス管理の徹底により廃棄量を減少させる
汚泥	11,862.00	低含水率脱水機への更新
廃油	1.40	
廃プラスチック類	87.00	原料の包装容器等を通い箱形式に変更する。又包装材料メーカーに返却を検討する
金属屑	114.40	
動植物残渣	2,887.40	製造ラインでの歩留まり向上に努め廃棄物発生を抑制する
合計	14,966.50	

備考

別紙4-1 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①前年度(平成23年度)実績・現状

廃棄物の種類		ガラス屑	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属屑	動植物性残渣
全処理委託量(t/年)		15.93	659	1.5	96.7	114.4	2887.4
優良認定処理業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0
	再生処理業者への処理委託量	15.93	659	1.5	96.7	114.4	2887.4
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

これまでに実施した取り組み

再生利用業者との処理契約で実施している

蛍光灯についてはあかりを購入するという機能を購入することでランプの廃棄物発生がなくなる

(使用済みランプは業者の廃棄物としてサービス会社により適正に回収、処理される)

別紙4-2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画 目標

廃棄物の種類		ガラス屑	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属屑	動植物性残渣
全処理委託量(t/年)		14.3	593.1	1.4	87.00	114	2887.40
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	再生処理業者への処理委託量	14.3	593.1	1.4	87.00	114	2887.40
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

今後実施する予定の取り組み

本年度の生産計画では増産が見込まれる為更なる分別による有価物化を図り廃棄物削減に努める

植物性残渣の処理を従来のコンポスト化から別路の再生利用を検討する。

使用物品のグリーン購入に努める

優良認定処理業者を選定する